

修成建設専門学校で出前講座

179 名が鉄筋組立などを体験

関西鉄筋工業協同組合（岩田正吾理事長）は 10 月 18 日（金）、大阪西淀川区の修成建設専門学校で出前講座を開催しました。同校では昨年に続き 2 回目の開催となるもので、建築学科や専科の学生らが 4 回に分けて計 179 名が受講しました。

講座に先立ち、岩田理事長が「皆さんの多くは設計や施工管理の仕事に進まれると聞いている。職人の仕事を理解することは皆さんにとってもプラスになることであり、こうした体験を通じてしっかり学び、社会に出てから役立ててください」と挨拶しました。

この後、田中勲副理事長らの注意事項等の説明に続いて、学生たちは 5 班に分かれ 2 級検定モデルの鉄筋組立作業に挑戦。現場で活躍する職人からハッカーの使い方を教えてもらいながら真剣な表情で結束作業に取り組んでいました。この間には関西圧接業協同組合（濱野功理事長）の協力をいただき、圧接作業の実演見学や体験も行われました。

また、午後から行われた専科の講座では近畿建設躯体工業協同組合（山本正憲理事長）と合同で鉄筋と型枠の組立作業が行われ、学生たちはハッカーを使って結束作業を、またハンマーを使って型枠の組立作業を体験しました。

今回の出前講座に参加していただいた組合関係者は次の通りです。

- ・ 岩田理事長（正栄工業）
- ・ 田中副理事長（関西スチールフォーム）
- ・ 鎌田労務部会長（鎌田鉄筋工業）
- ・ 又野さん（又野鋼業）
- ・ 富田さん（富田興業）
- ・ 辻本さん（辻本鉄筋工業）
- ・ 今村さん（吉岡工業）
- ・ 山村さん（関西スチールフォーム）
- ・ 職人 4 名（又野鋼業 2、辻本鉄筋工業 1、吉岡工業 1）

講 義 状 況

